



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月7日

上場会社名 ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3222 URL http://www.usmh.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上田 真
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理部長 (氏名)熊谷 直義 (TEL) 03-3526-4766
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	491,687	—	10,264	—	10,302	—	4,894	—
27年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 5,076 百万円 (—%) 27年2月期第3四半期 — 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	37.17	—
27年2月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	254,643	132,722	51.9
27年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 132,141 百万円 27年2月期 — 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期	—	7.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	—	12,000	—	12,200	—	5,000	—	37.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年2月期3Q	131,681,356株	27年2月期	一株
----------	--------------	--------	----

② 期末自己株式数

28年2月期3Q	6,120株	27年2月期	一株
----------	--------	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年2月期3Q	131,676,401株	27年2月期3Q	一株
----------	--------------	----------	----

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいております。そのため、様々な要因により実際の業績は上記予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましてはP. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

また、当社は共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で㈱マルエツ、㈱カスミ及びマックスバリュ関東㈱の完全親会社として設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同期四半期実績はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は共同株式移転の方法により、平成27年3月2日に、(株)マルエツ、(株)カスミ及びマックスバリュ関東(株)（以下「3社」といいます。）の共同持株会社として発足いたしました。なお、当連結会計年度が設立第1期となるため、前連結会計年度及び前四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国際情勢不安やアジアの一部新興国の景気下振れといったリスクを抱えながらも、緩やかな回復基調を続けております。雇用情勢の改善が続き、個人消費も堅調に推移していますが、一方では実質賃金が伸び悩む中で、消費者物価の上昇等もあり、消費マインドは依然不透明な状況を呈しております。

当社グループは、平成27年4月6日に、「統合シナジーによる新たな価値創造」を基本とする中期経営方針を策定し、4つの基本戦略の取り組みを開始いたしました。その戦略は、①新たな商品価値の創造、②新たなサービスの創造、③次世代を担う人財の育成、④経営効率の改善であります。これらはユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)として、首都圏での経営基盤を確固たるものとし、統合シナジーの創造を図るものであり、その具現化に向けて、プロジェクト・チームを組成し推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の主な内容及び成果としましては、「商品」において3社の共同調達による対象品目を拡げ、さらなる原価低減に取り組むと共に、「営業企画」では定期的な3社共同販促企画を実施し、客数増に寄与いたしました。また、グループの「本部機能」の見直しを進め「広報IR」「法務」機能の集約に着手し、経営効率の改善を図りました。その他、スーパーマーケット経営の根幹である、「人材育成」「物流」「情報システム」「店舗開発」「事業創造」等の領域でのプロジェクトも活発に活動し、業績向上に寄与するさらなる「統合シナジーの創造」に向けて取り組みを進めました。

主要連結子会社において、(株)マルエツでは平成27年度を「更なる『飛躍』に向けた『変貌』の年」と位置づけ、「競争力の進化」「生産性の進化」「マネジメント力の進化」に取り組みました。主な施策としては、青果部門の集客力向上に向けた取り組みの推進、惣菜部門の主力商品のリニューアルによる活性化、センター加工商品の品揃え拡充等、生鮮・惣菜の強化を図るとともに、改装・リニューアルによる既存店活性化を推進いたしました。また、都心店統括部の店舗で実施している「勧告型自動発注システム」を標準店統括部へ導入し、合わせて167店舗に拡大いたしました。更に「セミセルフレジ」の実験導入、伝票レス化の推進等を行うことにより、生産性の改善を図りました。

(株)カスミでは、お客さまの声に真摯に耳を傾け、対話と交流を通して地域の皆さまに「いいね!」と共感していただける店舗づくりを目指す「ソーシャルシフトの経営」に基づく取り組みを推進いたしました。営業面では、自主自律型の店舗運営を志向するソーシャルシフト店舗を122店舗に拡大いたしました。店舗ごとに従業員が自主的に企画したイベントや売場づくりなどを社内フェイスブックにてリアルタイムで共有し、お客さま目線の売場・サービス・情報・提案に取り組むことで、地域の中で「わたしの店」と感じていただける店舗づくりを進めました。

マックスバリュ関東(株)では、お客さま満足の実現に向けて「変革」と「実行」をスローガンに掲げ、生鮮・惣菜強化に向けて、青果売場を中心にレイアウト及び品揃えの変更、惣菜部門では新規ベンダー開拓と新製品の積極的投入等を実施いたしました。営業面では、お客さまのライフスタイル、生活行動の変化に対応するため、売場展開と品揃えの拡充を図ると共に、冠セールである「火曜日」の再強化に取り組みました。生鮮中心に品揃えの幅を拡げ、売上トレンドが上昇基調となっております。また、当事業年度から営業サポート部を新設し、オペレーション技術の向上、働き方の改革を通じ、現場力強化に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間において、(株)マルエツが10店舗、(株)カスミが11店舗、マックスバリュ関東(株)が1店舗、当社グループ計で22店舗を新設いたしました。一方、経営資源の効率化を図るため、(株)マルエツが4店舗、(株)カスミが1店舗、マックスバリュ関東(株)が5店舗、当社グループ計で10店舗を閉鎖いたしました。その結果、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、中国江蘇省の2店舗を含めまして493店舗となりました。

また、当社グループは環境・社会貢献活動にも積極的に取り組んでおります。平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨」では、緊急支援募金活動を行い、お客さまからお預りした募金と、従業員募金、お取引先さまからの見舞金及び各社の拠出金を合わせた総額12,321,273円を茨城県、栃木県、常総市に寄付させていただきました。(株)カスミでは、東日本大震災で甚大な被害を受けた、岩手県陸前高田市の子どものために、復興支援カレンダー「明日暦」によるチャリティー活動を5年目となる本年度も行いました（チャリティー募金全額を陸前高田市立小中学校復興基金に寄付予定）。(株)マルエツでは、カーボン・オフセットの取り組みとして、お客さまのご協力により店頭回収されたリサイクル資源の売却益活用で宮城県、岩手県、福島県の被災3県からオフセット・クレジットを購入し、被災地域の環境保全活動や地域活性化の支援を行いました。その他、当社グループの各店舗では、食品トレー、牛乳パック等のリサイクル資源

の回収も継続して行っております。

なお、当社グループはスーパーマーケット事業を単一セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

このような状況において、各施策に取り組みました結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、営業収益（売上高及び営業収入）が4,916億87百万円、営業利益が102億64百万円、経常利益が103億2百万円、四半期純利益が48億94百万円となりました。

（参考情報）

主要連結子会社では、当第3四半期連結累計期間における㈱マルエツの単体の営業収益は2,696億43百万円（前年同四半期比5.9%増）、㈱カスミの単体の営業収益は1,837億6百万円（前年同四半期比6.6%増）、マックスバリュ関東㈱の単体の営業収益は354億48百万円（前年同四半期比4.8%減）の結果となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,546億43百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が290億89百万円、たな卸資産が173億40百万円など流動資産が690億54百万円、有形固定資産が1,185億67百万円、投資その他の資産が482億14百万円など固定資産が1,855億88百万円であります。

負債は、1,219億21百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が486億79百万円など流動負債が858億22百万円、長期借入金が201億50百万円など固定負債が360億99百万円であります。

純資産は、1,327億22百万円となりました。その主な内訳は、資本金が100億円、資本剰余金が1,043億19百万円、利益剰余金が161億34百万円など株主資本合計が1,304億46百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成27年4月6日に公表いたしました通期予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年11月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	29,089
受取手形及び売掛金	1,105
たな卸資産	17,340
その他	21,591
貸倒引当金	△71
流動資産合計	69,054
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	60,376
土地	42,356
その他（純額）	15,834
有形固定資産合計	118,567
無形固定資産	
のれん	15,687
その他	3,119
無形固定資産合計	18,806
投資その他の資産	
退職給付に係る資産	405
差入保証金	34,043
その他	14,157
貸倒引当金	△392
投資その他の資産合計	48,214
固定資産合計	185,588
資産合計	254,643

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(平成27年11月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	48,679
短期借入金	4,656
1年内返済予定の長期借入金	3,750
未払法人税等	2,629
賞与引当金	3,797
転貸損失引当金	8
店舗閉鎖損失引当金	107
その他	22,192
流動負債合計	85,822
固定負債	
長期借入金	20,150
役員退職慰労引当金	346
転貸損失引当金	248
債務保証損失引当金	110
退職給付に係る負債	1,326
資産除去債務	4,423
その他	9,494
固定負債合計	36,099
負債合計	121,921
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	104,319
利益剰余金	16,134
自己株式	△6
株主資本合計	130,446
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	141
為替換算調整勘定	336
退職給付に係る調整累計額	1,216
その他の包括利益累計額合計	1,694
少数株主持分	581
純資産合計	132,722
負債純資産合計	254,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	481,071
売上原価	345,604
売上総利益	135,467
営業収入	10,615
営業総利益	146,082
販売費及び一般管理費	135,818
営業利益	10,264
営業外収益	
受取利息	69
受取配当金	47
その他	415
営業外収益合計	533
営業外費用	
支払利息	181
補償金返還額	93
その他	219
営業外費用合計	495
経常利益	10,302
特別利益	
固定資産売却益	253
特別利益合計	253
特別損失	
減損損失	1,020
店舗閉鎖損失引当金繰入額	107
店舗閉鎖損失	159
特別損失合計	1,287
税金等調整前四半期純利益	9,268
法人税、住民税及び事業税	4,479
法人税等調整額	△37
法人税等合計	4,442
少数株主損益調整前四半期純利益	4,826
少数株主損失(△)	△68
四半期純利益	4,894

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成27年3月1日
至平成27年11月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	4,826
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	143
為替換算調整勘定	△42
退職給付に係る調整額	151
持分法適用会社に対する持分相当額	△1
その他の包括利益合計	250
四半期包括利益	5,076
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	5,157
少数株主に係る四半期包括利益	△81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、共同株式移転の方法により、平成27年3月2日付で㈱マルエツ、㈱カスミ及びマックスバリュ関東㈱の完全親会社として設立されました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が10,000百万円、資本剰余金が104,319百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

当社グループは、スーパーマーケット事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。